

RYOBI®

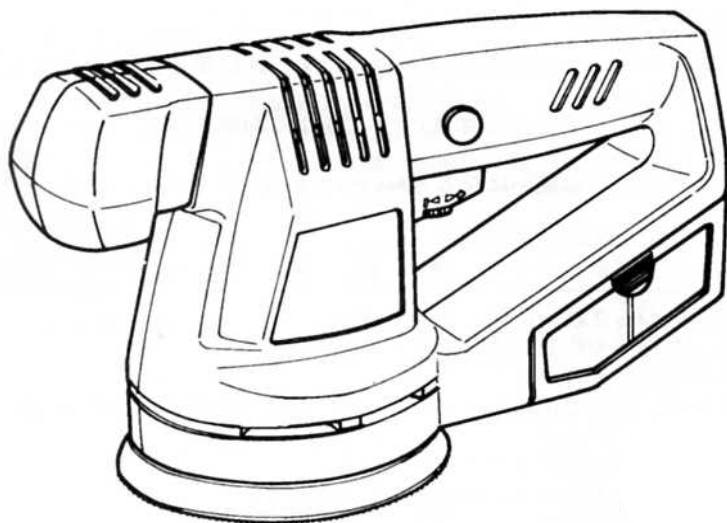
ランダムサンダ

RS-115

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



もくじ

- ・安全上のご注意…………… 1～4
- ・各部の名称、仕様…………… 5
- ・付属品、別販売品…………… 5
- ・操作方法…………… 6～8
- ・作業方法…………… 9～10
- ・保守と点検…………… 11



二重絶縁

6984562(D)

このたびは、リョービランダムサンダをお買上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。

使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

注意文の「△警告」、「△注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンス等に関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

■安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

△ 警 告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・電動工具は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・作業場は十分に明るくしてください。
 - ・可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
 - ・電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近づけないでください。
 - ・作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
 - ・作業員以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
6. 無理に使用しないでください。
 - ・安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

7. 作業に合った電動工具を使用してください。
 - ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
 - ・指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
 - ・だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻込まれる恐れがありますので着用しないでください。
 - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
 - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引張ってコンセントから抜かないでください。
 - ・コードを熱、油、角のところがった所に近づけないでください。
11. 加工する物をしっかりと固定してください。
 - ・加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
12. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
13. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・安全に能率よく作業をしていただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
 - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
 - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスがつかないようにしてください。
14. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
 - ・使用しない、または修理する場合。
 - ・刃物、砥石、ビット等の付属品を交換する場合。
 - ・その他危険が予想される場合。
15. 調節キーやレンチ等は、必ず取外してください。
 - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取外してあることを確認してください。
16. 不意な始動は避けてください。
 - ・電源につないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
 - ・プラグを電源にさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
17. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
 - ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
18. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
 - ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等十分注意して慎重に作業してください。

- ・常識を働かせてください。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。
19. 損傷した部分がないか点検してください。
- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
- 取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。スイッチが故障した場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。
- ・スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
20. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
- ・本取扱説明書およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。
21. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。
- ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
 - ・修理は、必ずお買上げの販売店またはリョービ販売営業所にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

ランダムサンダご使用に際して

先に電動工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、ランダムサンダをご使用の際には、さらにつきに述べる警告・注意事項を守ってください。

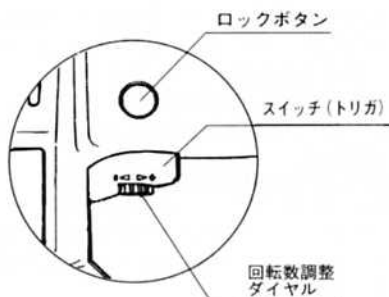
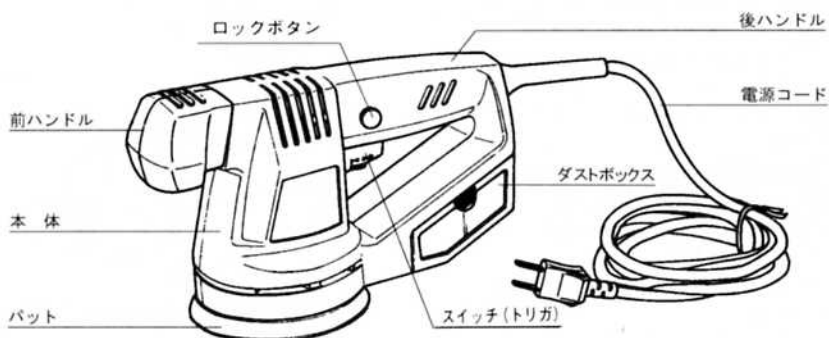
⚠ 警告

1. 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - ・表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 使用中は、振回されないよう本体は確実に保持してください。
 - ・確実に保持していないと、けがの原因になります。
3. 使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・けがの原因になります。
4. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店、または、リョービ販売営業所に点検・修理を依頼してください。
 - ・そのまま使用していると、けがの原因になります。
5. 誤って落としたり、ぶつけたときは、機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠ 注意

1. 付属品は、取扱説明書に従って確実に取付けてください。
 - ・確実にないと、はずれたりし、けがの原因になります。
2. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。また、コードを引っかけたりしないでください。
 - ・材料や機体などを落としたりしたときなど、事故の原因になります。
3. 回転させたまま、台や床などに放置しないでください。
 - ・けがの原因になります。

■各部の名称



■仕様

- 電源..... 単相100V 50/60Hz
- 電流..... 2.2A
- 消費電力.....200W
- 無負荷回転数..... (no)0~11,000min.⁻¹(回/分)
- 偏心量..... 2mm
- バットサイズ(径)..... 110mm
- ジスクペーパー..... 115mm径、マジック貼付タイプ(穴あき)
- 重量..... 1.5kg
- 絶縁方式..... 二重絶縁

■付属品

- ジスクペーパー#120..... 1
- ポリシングスポンジ..... 1
- パフ..... 1

■別販売品

- ジスクペーパー(各5枚組)
#40、#60、#80、#120、#180、
#240、#320、#400
- 羊毛パフ

■操作方法

●スイッチの扱い方

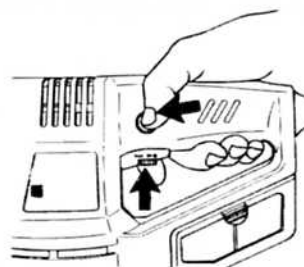
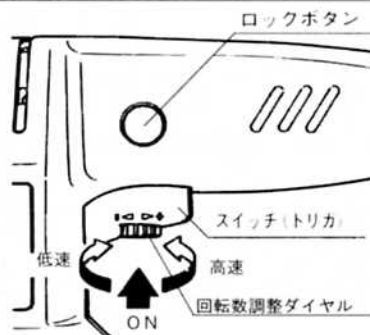
警告	・使用電源は銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用しますと回転が異常に高速となりけがの原因になります。
注意	・回転させたまま、台や床などに放置しないでください。けがの原因になります。

- スイッチとスイッチ部分にある回転数調整ダイヤルにより、回転数を0～11,000 min.まで、作業に合わせ調整することができます。
- 回転数調整ダイヤルを、⊖方向へいっぱい回した状態ではトリガを引いても、モーターはほとんど回転しません。
- 回転数調整ダイヤルを⊕方向へ回すことにより、回転数の設定ができます。この状態でトリガを引けば電源が入り、モーターが回転します。
⊖方向へ戻しても、いっぱい回した状態でなければ、同じように回転数の設定ができます。
- トリガの引き具合でも回転数の調整ができますが、回転数調整ダイヤルで設定した回転数がこの場合の最高回転数となります。
- 連続作業をされる場合は、トリガを引いた状態のままロックボタンを押し、そのままトリガから指を離せばスイッチが入ったままとなります。

(注)この状態で回転数調整ダイヤルを回し回転数を設定することもできます。

回転数調整ダイヤルを回すとき、固く感じる場合はスイッチの両側からダイヤルを回すようにしてください。

- 解除は、再度トリガを引いてロックボタンを戻し、つぎにトリガから指を離してください。



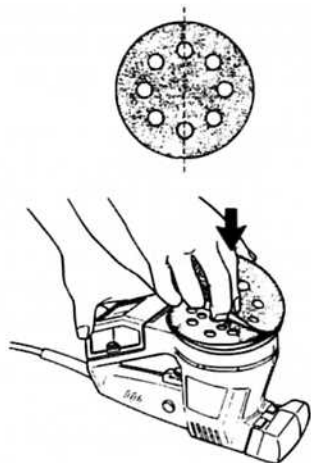
●ジスクペーパーの取付け、取外し



・ジスクペーパーの取付け、取外しの際は必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

- パット底面へのペーパー貼付けは、ベルクロタイプのマジック式ですから、パット底面へペーパー裏面を合わせ、押さえるだけでセットできます。

- ペーパーには粉じんを吸込む為の穴が開けてあります。パットの穴と合わせるため、ペーパーを図の様に穴と穴を結んだ線で軽く折り曲げるようにします。つぎにこの折れ位置の穴でペーパーとパットを合わせ、残りも面も合わせて押えます。



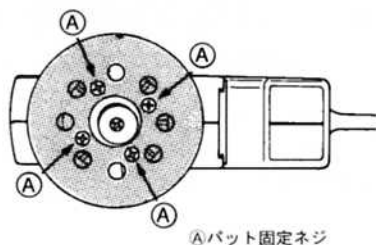
●パットの交換



・パットの交換の際は必ずスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。不意な始動によるけがの原因になります。

- 長時間ご使用になりますと、パット底面の摩耗により、ペーパーが着きにくくなります。パットの交換をしてください。

- パット面を上に向けたのちパットを手で押え、パットを固定している4本のネジ(A)を、お手持ちの⊕ドライバでゆるめるとパットは外れます。
(注)中央のネジには触れないでください。



- 新しいパットを取付ける際には、外したときの逆の要領でネジを締付けて、取付けます。

(注)パット交換をされた場合や初めてご使用になる前には、ネジがゆるんでいないことを必ず確認してください。

●ダストボックスの脱着

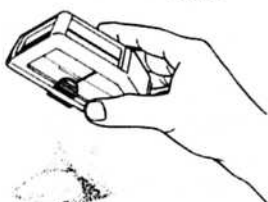
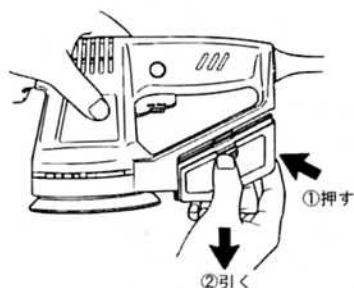
- 研削粉じんは後ハンドル下のダストボックスに集じんします。

脱着は、ダストボックス横のタブ部分を指で押えたまま、下へ引降すと、ダストボックスが本体よりはずれます。

- 粉じんが半分位たまりましたら、早めにダストボックスをはずし、粉じんを捨ててください。
粉じんのたまりすぎやダストボックスの目づまりは集じん効率が低下します。

- 装着はダストボックスのミゾと本体のガイドを合わせ、後ハンドルの方へスライドさせます。

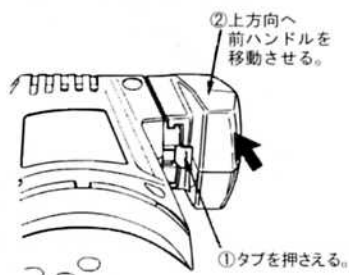
止まったところでタブを押え、ダストボックスのツメを本体に掛けて固定します。



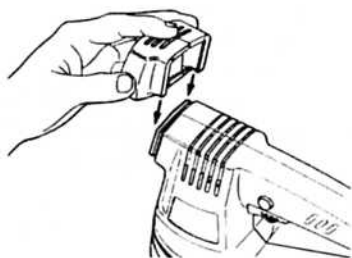
●前ハンドルの脱着

- コーナー部分の研削などのときは、前ハンドルが取外せるようになっています。

- 取外しは、前ハンドル下のタブを押さえながら上へ持上げてください。



- 取付けは、本体のガイドと前ハンドルのミゾを合わせ、上から下の方へ前ハンドルをスライドさせて固定します。



■作業方法

●研削

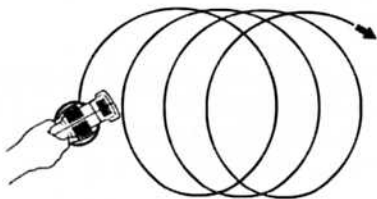
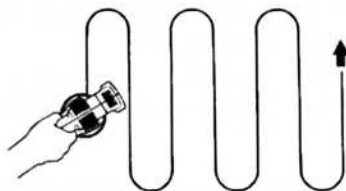
- 加工材に合わせ、ジスクペーパーの粒度(＃)を選定してください。

ジスクペーパーの目安

作業内容	ジスクペーパー		回転数
	荒削り	仕上げ	
合板	240	320	低～中
軟い木材	40～80	240	中～高
硬い木材	40	180	中～高
アルミニウム	80	240	低～中
鉄	40	240	中～高
ステンレス	120	240	中～高
塗装面のサンディング	180	320	中～高
塗装はがし	40	80	低～中
サビ取り	120	240	低～中

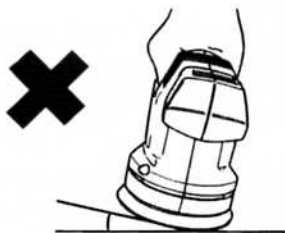
- ジスクペーパー全体を、パットの回転が止まらない程度に軽く押付けてください。

(注)パットの回転が止まると、研削、研磨効率がいちじるしく低下します。
研削ムラがでないよう、全体の面を均一に、上下左右に、あるいは円を描くように作業してください。



- パットが傾いたりしないよう注意してください。

- スイッチを切るときは、加工材の上に本体を置いたまま、スイッチを切ってください。回転運動が停止する前に本体を引き離すと、不要な削り跡を残すことがあります。



●自動車のワックスがけ前の 下地処理とワックスがけ

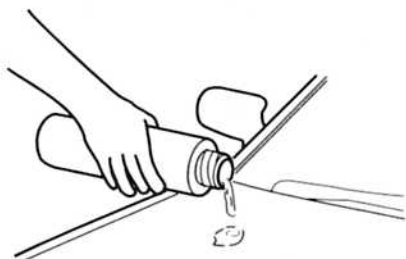
- バフやポリシングスポンジは、「ポリシャ用」と表示のあるコンパウンドやワックスなどのケミカル製品と一緒に、ご使用ください。
- 適切なケミカル製品を使用しないで作業をした場合、効果が得られず、塗装の種類によっては傷を大きくすることになりますので、ご注意ください。
- ケミカル製品の使用説明通りにバフやポリシングスポンジを使い分けてください。
- いずれの作業も目立たない部分で必ずテスト運転をした後、作業をしてください。
- ボディ各部の汚れ具合の違いにより、作業時間が異なります。
- 始めから高速で回転させますとケミカル製品が飛び散り衣類等にかかることがあります。低速でスタートし、様子を見ながら徐々に最適な回転数にしてください。
- バフやスポンジに泥や砂が付いたものは、使用しないでください。大きな傷をつける原因になります。

(ワックスがけ前の下地処理)

- きれいなバフやポリシングスポンジにコンパウンド(ケミカル製品)を付けるか、あらかじめ塗装面の方に適量を付けておいて作業してください。
1. バフを使う：微細なスクラッチ傷やがんこな汚れ取り
 - ・普通、専用のバフとコンパウンドで磨きます。ケミカル製品の使用説明をよくお読みの上、作業をしてください。バフは、研磨力が強いので下地が出ないよう、磨き過ぎにご注意ください。
 2. ポリシングスポンジを使う：汚れやバフ目を取り下地を仕上げる
 - ・1の作業で残ったバフ特有の傷「バフ目」は、超微粒子のコンパウンドとポリシングスポンジで仕上げてください。ケミカル製品の使用説明をよくお読みの上、作業をしてください。

(ワックスがけ)

- きれいなポリシングスポンジにワックスを付けるか、あらかじめ塗装面に付けておき、ポリシングスポンジを回転させながら薄く均一に伸ばすようにワックスをかけたください。
- コンパウンドが付いたままのスポンジでワックスがけはしないでください。
- ワックスの拭取りは、きれいな柔らかい布で拭取ってください。ご使用のワックスの使用説明をよくお読みの上、作業をしてください。



■保守と点検



・保守、点検、部品交換等のお手入れの前にスイッチを切り、プラグを必ず電源から抜いてください。けがや感電の原因になります。

●各部取付ネジの点検

- ネジなどゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

●使用後の手入れ

- 油污れなどをふき取り使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体を拭いてください。
- ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。
- 作業後はダストボックスを外し、中の粉じんを捨ててください。
- 「バフ」、「羊毛バフ」の汚れは、中性洗剤またはぬるま湯で押し洗いをしたのち軽く水を切り、日影で干してください。

●作業後の保管

- 高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下の恐れのあるところはさけてください。

●カーボンブラシについて

- 本機には消耗品のカーボンブラシを使用しています。カーボンブラシが短くなった場合には交換が必要です。総使用時間が約80時間程度になりましたら、定期点検をお買上げ販売店に依頼されることをお勧めします。
- 短くなったカーボンブラシをそのまま使用されますと、モーター焼けの原因になります。

●修理について

- 本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買上げの販売店にご用命ください。
- その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観等を変更することがあります。

RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

リョービ株式会社